

重要な会計方針

1. 資産の評価基準および評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び製品……………総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

2. 原価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産……………平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産
旧定率法

平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産
定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

(2) 賞与引当金の計上基準

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しています。

4. ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しています。尚、為替予約については、振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を採用しています。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

(2) 連結納税制度の適用

株式会社TSIホールディングスを連結納税親法人とする連結納税子法人として、連結納税制度を適用しています。

6. 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法へ変更しています。

当期純損益金額

第16期(平成30年3月1日から平成31年2月28日まで)の当期純損失は、9,138千円であります。